

2012年度ネットワーク農縁生産者の『土壌』の検査報告です

(各生産者の報告書は大豆畑トラストHPに掲載)

報告書番号 120135

放射能測定結果報告書

ネットワーク農縁 殿

報告日：2012年5月28日

〒136-0071 東京都江東区亀戸 7-10-1Zビル 4F

特定非営利活動法人有害化学物質削減ネットワーク

TEL&FAX03-5836-4359

測定者 中地 重晴(環境計量士 環 4749号)

貴殿より依頼のあった放射能測定結果を下記の通り報告いたします。

1. 試料情報

試料名：新庄市 土壌2 (吉野)

検体番号：120524-2shinjoushi-dojou2yoshino

採取日時：

試料收受月日：2012年5月24日

2. 測定情報

測定開始日時：2012年5月24日 12時22分

測定時間：7200(秒)

試料重量：900(g) 試料容器：M

コメント：

3. ピーク分析結果

核種名	分析領域(チャンネル)	グロスカウント	ネットカウント 誤差
Cs-134	467~558	6082	2401±289
Cs-137	350~463	15554	6559±74.1
K-40			

4. 定量分析結果

核種名	エネルギー (KeV)	放出率(%)	効率 (cps/Bq)	放射能濃度 (Bq/kg)	誤差 (%)	検出限界 (Bq/kg)
Cs-134	795.85	85.53	0.024238	ND		2
Cs-137	661.65	85.10	0.038328	26	5.9	2
全セシウム				26		
K-40	1460.81	10.70	0.005081			10

5. スペクトル図

別紙参照

6. 結果に対するコメント

ヨウ素-131のピークは検出されませんでした。

セシウム-134のピークは検出されませんでした。古い汚染の可能性がります。

新庄大豆畑トラスト事務局の見解

6月上旬に新庄大豆畑トラスト用に播いていた吉野昭男さんの『土壌』の放射能測定結果の報告が届きました。測定機関のコメントにもありますように、Cs 134がND(検出されず)なのにCs 137が検出されたのは各存在比がおよそ1:1であることから考えて、今回の事故由来ではない可能性があるかと判断して差しつかえないと思います。例えば大気圏内で行われ続けてきた核実験、他の事故等で既に世界中に降り注がれてきたことも要因かと。そして、新庄市神室山系の用水はCs 134、137共にNDでしたので、今年も大豆種蒔きを依頼致しました。